



中海こども園は、一年を通して地域の方々に支えられ、こどもたちは元気に楽しく活動しています。食育をはじめ、地域の伝統や自然豊かな中海を感じられる活動には地域の方々の活躍はとて有難いものです。今回の情報誌はお世話になっている地域の方をはじめ、職員の紹介もさせていただきたいと思っております。



中海こども園では地域の方々に こどもたちの活動のご指導をいただいております。

地域の方との活動

- 4月 ジャガ芋の種芋植え
- 5月 田植え体験
夏野菜の苗植え
さつまいもの苗植え
春の野山散策
- 6月 梅干し作り(塩漬け)
- 7月 梅干し作り(紫蘇漬け)
- 8月 梅干し作り(天日干し)
- 9月 稲刈り体験
- 10月 さつまいも掘り
焼きいも会
秋の野山散策
- 11月 剣舞・白拍子のお話
干し柿作り
- 12月 鏡餅・餅花作り
- 2月 味噌作り



川崎義光さん(桂町在住)
 野山散策、鏡餅作り、味噌作りの先生です。かすかみ神社遊歩道の案内をしてくださり、木のお話を聞いたり木の葉や木の実拾いをして楽しみました。また、鏡餅や味噌作りも準備から作り方の手順まで熱心に教えてくださいました。

山下みよさん(軽海町在住)
 梅干し作りの先生です。梅の実を塩漬けするところから始まり紫蘇の葉を塩もみし、梅をきれいな赤紫色に染める工程を教わりました。梅雨明けに天日干しをし、昔ながらの梅干しを味わいました。



高林義明さん(軽海町在住)
 畑の先生です。畑の土づくりから始まり、夏、冬野菜の苗植えや、お世話の仕方などを教わりました。収穫した野菜はクラスごとにクッキングしたり、全児で夏野菜カレー作りをしたりしました。自分たちが手がけた野菜はとても美味しかったです。また、渋柿の皮をむき、昔ながらの干し柿作りも楽しみました。



**大田和江さん(軽海町在住)
 林三枝子さん(原町在住)**
 軽海町・原町に伝わる剣舞や白拍子についてお話を聞きました。剣舞では、太田さんに口上を見せてもらいその迫力を感じ、白拍子では林さんのお家で紙芝居を使って仏御前のお話を聞き、それぞれの踊りの世界に想いを馳せる事ができました。



大田健一郎さん(軽海町在住)
 今年も大田さんの田んぼを使わせてもらい手作業での田植えや稲刈りを体験させてもらいました。腰を曲げて、かがんだ姿勢で行う作業の大変さや難しさを味わい貴重な体験となりました。



川上進さん、志津子さん(岩瀬町在住)
 焼き芋会でのお世話をしてくださりました。当日朝早くから来園され、もみ殻に煙突を立てた本格的な焼き場を作って頂きました。こどもたちは新聞とアルミホイルで包んだ芋を火の中に投げ入れ、じっくりと焼かれた芋は格別美味しいものでした。
 祖父母の田島広司さん(中海町在住)
 上田勲さん(原町)もお手伝いして下さいました。



中海こども園のスーパーマン!! 小松俊也主幹保育教諭

- 力持ち!!
お父さんのような存在☆
- こまめに部屋の様子を見に来てくれて子どもたちに声をかけてくれる。
- 優しく話しやすい! 声や表情からも優しさがある。



- 男性保育者ならではのダイナミックな遊びをしてくれる。
- 保育者からも頼れる存在。

毎日、子どもの表情や声に耳を傾け、すべての子ども達と顔を合わせるようにしています。子どもが自ら育つように、子どもの育ちを大切に、主体的に遊ぶよう陰から支えるように心掛けています。

図書館司書の経験があり本に詳しい!! 西田裕紀子保育教諭

- 子ども達に読み聞かせる本の選び方を伺いました。
- 子ども達には、絵や言葉、物語にあたたかみのある絵本を選びます。
- 子ども達にはぜひ、昔話を! 昔話には人間の生きる力や知恵がたくさん詰まっています。



絵本を購入したり選んだりする時には、出版日から20年を過ぎているものを選んで下さい。長く読み継がれてきた本には力がありますよ!

絵本を読んであげる大切な意味は、子どもたちが大好きな人と『共にいる』ということです。絵本を囲んで一緒にいる時を楽しんで下さいね!

～安心安全の保育のために～

昨今、バスの園児取り残し事故が続き、当園でもこどもたちを受け入れる側として、すべてにおいて職員間での伝え合いの確認作業を行うことを大切にしています。こどもたちに危険がないように業務改善・提案を常に行っています。

〈登園時の確認〉

- ・登園したら玄関先で受け入れた職員がキッズビュー(園児用の出欠確認ソフト)にチェックを入れる。担任は9時すぎに出欠不明の子がいたら職員室と連携をとり確認します。
- ・電話で遅刻、欠席の連絡を受けたら担任に伝え、園内放送でもお知らせする。伝え合うことで職員間の連携をとっています。

〈バス運転手〉

- ・日々体調を万全にしておく。
- ・毎朝アルコールチェックを行い、他の職員に確認をしてもらう。
- ・人命尊重を第一とし、譲り合いの精神で運転する。
- ・到着後、車内に園児の取り残しや忘れ物がないか必ず確認する。(来年度には取り残しを知らせるブザーを装着予定)

〈バス添乗者(引率者)〉

- ・バス添乗セット(時刻表、緊急連絡先、バス安全チェック表)、笛、携帯電話を持ち園児の点呼を行い人数確認する。座席に座ったら全員乗車したかの人数確認と点呼を必ず行う。
- ・到着後、バス安全チェック表にもとづき園児の取り残し、忘れ物がないか車内を確認する。添乗者とバス運転手とでダブルチェックを行う。

皆様こんにちは。いつも大変お世話になっております。こどもたちは、自然の美しさや厳しさを感じながら、いろんな体験をして、学びあり感動あり、日々成長をしています。これも地域の皆様のおかげと心より感謝申し上げます。

今年も未だコロナ禍が収まらない状況ですが、この情報誌を通して、皆様に少しでも中海こども園を身近に感じていただけたらと思います。

これからもどうぞよろしくお願いいたします。 【副園長 清水啓子】

